

熊本市東区まちづくり懇話会報告書



平成 25 年 11 月 27 日

熊本市東区まちづくり懇話会

【目 次】

1	報告にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	協議項目の選定について・・・・・・・・・・・・・・・・	2
3	協議内容	
	(1) 東区まちづくり予算事業継続分及び報告事業・・・・・・・・	2
	■基本方針1 人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち	
	①地域コミュニティ活動への参加促進	
	・地域情報提供の充実	
	・東区民が交流の輪を広げる取り組みの促進	
	・地域コミュニティ活動への理解と地域住民の交流の促進	
	■基本方針2 誰もが安全で安心して過ごせるまち	
	②災害に強いまちづくり	
	・防災体制の充実	
	■基本方針3 誰もがいきいきと暮らせるまち	
	③健康づくり活動の推進	
	・校区単位の健康まちづくり	
	■東区まちづくりビジョンの推進に向けて	
	④推進体制	
	・東区まちづくりビジョンの推進	
	(2) 課題新規対応策項目・・・・・・・・・・・・・・・・	8
	■基本方針1 人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち	
	①地域の歴史・文化の活用	
	・将来に残したい、伝えたい歴史・文化の活用	

■基本方針3 誰もがいきいきと暮らせるまち

②子どもの育成環境づくり

- ・子育てネットワークの開催など、地域全体で子どもの成長を支え、安心して子育てができる環境づくり

③みんなで助け合う福祉のまちづくり

- ・地域での介護予防の取組み
- ・高齢者を地域全体で見守り、支え合う体制の充実

■基本方針5 暮らしやすく活気あふれるまち

④地域に根ざした経済の活性化

- ・「若手農業者のネットワークづくり」について

(3) その他意見 13

【参 考 資 料】

- 1 熊本市東区まちづくり懇話会設置要綱 14
- 2 熊本市東区まちづくり懇話会委員一覧 15
- 3 熊本市東区まちづくり懇話会 審議経過 16

【報告にあたって】

東区まちづくり懇話会は、めざす区の姿を「自然豊かな 笑顔あふれる未来のまち 東区」とする熊本市東区まちづくりビジョンに基づき、区民の参画による区の特性を生かしたまちづくりに関する事項について協議を行い、これからの新しい東区のまちづくりを区民と区役所の協働により推進するものである。

この報告書は、東区役所から、来年度以降に向けた継続した取組みと新たな取組みについて提案のあった事項を東区まちづくり懇話会で協議を重ね、報告書にまとめたものである。当懇話会で協議した事項については、当懇話会の意向を尊重し、十分な考慮のうえ取組んでいただきたい。

平成25年11月27日

熊本市東区まちづくり懇話会 会長 桑原 隆広

2 協議項目の選定について

東区役所から、東区まちづくり予算事業(継続分)及び報告事業6項目と課題新規対応策についての5項目についての協議項目の提案があったため、協議したところ、提案のあった全ての以下11項目を協議項目として選定することとした。

3 協議内容

(1) 東区まちづくり予算事業継続分及び報告事業

来年度以降も継続する東区まちづくり予算等の6項目についての方向性の協議を行った。

◆協議項目1

協議項目名	【地域情報提供の充実について】	
まちづくりビジョンとの関連	基本方針	1 人と人とがつながり世代を越えて語り合えるまち
	重点的テーマ	1 地域コミュニティ活動への参加促進
事務局提案の方針	1) 行政や地域から発信した情報を見てもらうための仕組みづくりとして、広報媒体の拡充、広報媒体の周知、見たくなるための編集に重点をおき、情報提供を行う。 2) 地域情報収集の仕組みづくりとして、地域からの情報提供、広報サポーターの育成・活用【まちづくり予算事業】に取り組む。 ※地域からの情報提供については、地域課題検討会で検討。	
まちづくり懇話会での主な意見	1) ・若い人は新聞さえ読まない。情報が伝わらないということを前提とした情報発信を考えないといけない。(ライン、フェイスブックの活用) ・回覧板は効果的だが、早くまわさなければならないという意識も働く。区だよりなど必要なものについては、全戸配布を検討してほしい。 2) ・広報サポーター育成後の地域とのマッチングが重要であり今後検討が必要。また、サポーター制度をシステムの的にコミセン単位、校区単位に位置づけ、ミッションを持たせるなど、活用についての検討が必要。	
その他意見	校区新聞を発行しているが、見てもらえるようカラーが必要。公民館に有料でもいいのでカラーコピー機を設置してほしい。	
今後の方向性	・住民の年代に応じた情報提供方法の検討を行ってほしい。また、予算の範囲内で必要なものは全戸配布を行うなど、効果的な情報発信につとめてほしい。 ・広報サポーターを地域とマッチングし適切に活用することで、行政や地域からの情報発信を充実してほしい。	

◆協議項目 2

協議項目名	【東区民が交流の輪を広げる取り組みの促進】	
まちづくりビジョンとの関連	基本方針	1 人と人とがつながり世代を越えて語り合えるまち
	重点的テーマ	1 地域コミュニティ活動への参加促進
事務局提案の方針	1) 東区民まっりの継続開催 2) 東区長杯小学校交流サッカー大会の継続開催	
まちづくり懇話会での主な意見	1) ・区民まっりの目的は、区民が交流し一体感を感じられるといったことが目的となっている。目的を達成するために色々と方策について検討いただきたい。 ・区民まっりにについては、開催当初は区役所主導となると思うが、いずれは区民主体の祭りとなるようにしていただきたい。 2) ・スポーツ大会開催にあたっては、社会体育といったものがコミュニティの積極的な要素になるので、子どもから大人までという方向性を持った地域コミュニティのビジョンを見据えて開催すべき。 ・大会運営だけでなく、地域づくりの大きな要素となる施設整備まで行うことも重要。	
その他意見	・文化的なことも取組んでほしい。	
今後の方向性	・区民まっりにについては、区民が交流し一体感を感じられる内容を検討してほしい。また、実行委員会形式をとるなど、区民主体の実施体制への移行を見据えた取組みを行ってほしい。 ・今後のスポーツ大会開催については、子どもから大人までという幅広い視野から体育協会と連携した取組みを検討してほしい。	

◆協議項目 3

協議項目名	【地域コミュニティ活動への理解と地域住民の交流の促進】	
まちづくりビジョンとの関連	基本方針	1 人と人とがつながり世代を越えて語り合えるまち
	重点的テーマ	1 地域コミュニティ活動への参加促進
事務局提案の方針	住民同士の交流の機会が増えるよう、地域コミュニティ活動への理解度を高め参加を促進するとともに、自治会などの取り組みを転入住民へ情報提供する。 ※地域課題検討会で検討。	
まちづくり懇話会での主な意見	・地域情報については、回覧板を見るぐらいで、ほとんど知らない。積極的に見ることは無いかもしれないが、インターネットでの情報提供のページがあれば分かりやすくなるのではないかな。 ・フェイスブックやラインのように、どちらかといえば情報が送られてくるほうが、見る可能性は大きい。 ・回覧板は、親が必要な情報を把握した後に回しており、他の家族は見たことがほとんどない。手元に残らないので、世帯数分のチラシを回してもらえればいいのではないかな。積極性が無いのも問題だが、回ってくる情報が無いのも問題だと思う。	
その他意見		
今後の方向性	地域課題検討会で検討されるが、情報提供の方法としては、回覧板以外にも全戸配布、インターネットなど、他の発信方法も検討してほしい。	

◆協議項目 4

協議項目名	【防災体制の充実】	
まちづくりビジョンとの関連	基本方針	2 誰もが安全で安心して過ごせるまち
	重 点 的 テ ー マ	3 災害に強いまちづくり
事務局提案の方針	1) 地域住民の防災意識の向上や地域の防災体制づくりのため、合同防災訓練事業を各校区で実施する。 2) 地域版ハザードマップの作成支援を行う。	
まちづくり懇話会での主な意見	1) ・自分の校区で実施したが、災害時要援護者もサポートできるような避難訓練にすることが必要。 ・若手の消防団員は別の地域に住んでいるという現状もあることを踏まえて、消防団の役割は整理すべき。地域の防災は、自主防災クラブが中心となるべき。 ・昼間は若い人達が仕事に出てしまうから、地元の企業を巻き込んだ校区の訓練を予定しているが、そういうアイデアも必要だ。 2) ・自分の地区では商店や医療機関に協力できることを調査し、防災マップを作成したが、そのような協力体制を作る必要がある。	
その他意見		
今後の方向性	・自主防災クラブが中心となり、災害時要援護者もサポートできるような、必要によっては地元の企業も巻き込んだ訓練を実施してほしい。 ・地域版ハザードマップの作成にあたっては、地域で全体的協力体制のもとでマップを作成してほしい。	

◆協議項目 5

協議項目名	【校区単位の健康まちづくり】	
まちづくりビジョンとの関連	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	1 健康づくり活動の推進
事務局提案の方針	1) 健康学習会やイベントなどで特定健康診査等の受診についての啓発活動を行う。 2) 生活習慣改善に継続して取組んでもらうよう健康学習会参加者のフォローアップを行う。 3) 地域で健康づくりを推進する地域健康リーダーの発掘と要請を行う。 4) 健康認知度を高めるよう地域での健康づくりのグループ化及びグループのネットワーク化を推進する。	
まちづくり懇話会での主な意見	1) ・特定健診等については、受診率が低いという課題があるので、健診や各校区で行われている幅広い健康増進の取組みの情報をいかに流せるかということだと思う。校区が世代別の地域の情報を提供しながら、認識を広めていく推進活動がある。 2) ・広いテーマで取り組むと行き詰るような気がする。生活習慣病であれば「糖尿病」といった感じでテーマを絞り込んだ上で、どういうふうな江津湖や託麻三山を活用するのかといった具体的なことを考えるべき。 ・町内のラジオ体操を校区に広げたいと考えている。ラジオ体操の活用も良いのではないかな。 3) ・自分達がどう健康づくりを進めていくかが課題であり、地域の指導者を育成することが重要だと思う。 4) ・様々な団体が合同で勉強会を開催することによって、情報交換に場になる。様々な課題があるが、1つを対応することが、他の1つの対応にも繋がっていく。 ・商店街でも医商連携による健康増進活動を行っており、効果が上がっている。このような取組みを地域と連携して普及していきたい。	
その他意見	・子どもの遊具だけでなく、大人の遊具（ぶら下がったりする健康器具）を整備することも検討してほしい。	
今後の方向性	特定健診の受診率を高めるための周知方策について検討してほしい。また、地域における健康まちづくりに向けた指導者の育成を進めていただくとともに、各地域で行われている取組みの情報を周知し、認識を広めてほしい。	

◆協議項目 6

協議項目名	【東区まちづくりビジョンの推進】	
まちづくりビジョンとの関連	—	東区まちづくりビジョンの推進に向けて
	—	推進体制
事務局提案の方針	1) 東区まちづくりビジョンの共有が図れていないことから、あらゆる機会を見つけ、まちづくりビジョンの周知を行っていく。 2) 区政モニター制度において、次年度は、東区まちづくりビジョンの基本方針ごとにグループを設置し、基本方針をさらに達成(課題解決)していくための対策を研究し、具体的な課題解決策の案を提出してもらう	
まちづくり懇話会での主な意見	1) ・ P T A、子育て支援等様々な形でビジョンを紹介するなどビジョンの共有が重要。ビジョンを広めるためには、様々な場面での説明等の周知活動が必要。 ・ 区だよりもにビジョンが掲載されていたが、限られたスペースでしかたがないが、文字が小さくて見づらい。見る側の立場で作成してもらいたい。また、写真もわかりやすいものを使用してもらいたい。	
その他意見		
今後の方向性	東区のまちづくりの方向性を示したまちづくりビジョンの共有が重要。様々な場面での周知活動を行ってほしい。また周知の際には、見る立場の視点で見やすいものを使用してほしい。	

(2) 課題新規対応策項目

東区まちづくりビジョンの具現化に向けて、取り組むべき様々な課題がある。来年度以降、新たに取り組む対応策についての協議を行った。

◆協議項目 1

協議項目名		【将来に残したい、伝えたい歴史・文化の活用】
まちづくりビジョンとの関連	基本方針	1 人と人とがつながり世代を越えて語り合えるまち
	重点的テーマ	3 地域の歴史・文化の活用
事務局提案の方針	1) 東区管内に存在する将来に残したい歴史遺産、文化財、伝統文化を発掘し、活用していく。 2) 公民館講座等での勉強会を開催する。 3) 東区の歴史遺産等調査と勉強会の成果として冊子にまとめる。 4) 史跡巡り等のウォーキングを開催する。	
まちづくり懇話会での主な意見	1) ・まず校区を知り、次に区全体を知るといったプロセスを踏むべき。校区を知るために、歴史遺産や名所旧跡の再点検を行い活用について検討すべき。 3) ・以前、中学生が史跡マップ作りをしている。子ども達と一緒に何かを作っていくということも大事なことはないか。 ・東区の史跡、文化財等のマップを作成すれば、子ども達にいい影響がある。 ・東区を知ってもらうため、東区各校区の祭りを集めた「まつり全集」を作成してはどうか。 ・毎年度2校区程度、予算を与えて各校区の取組みやそのあらましを自分たちでまとめさせる取組みをすれば、自分たちの校区に対する意識も高まるのではないか。	
その他意見		
今後の方向性	地域にある歴史遺産や名所旧跡の再点検を行い活用について検討を進めてほしい。また、マップ作りなど、住民が自分たちの校区について知識と愛着を深めるための取組みも検討してほしい。	

◆協議項目 2

協議項目名	【子育てネットワークの開催など、地域全体で子どもの成長を支え、安心して子育てができる環境づくり】	
まちづくりビジョンとの関連	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	2 子どもの育成環境づくり
事務局提案の方針	1) 子育てネットワーク活動が停滞している校区への支援。校区担当保健師が、校区の代表者に対して定期的な会議開催を依頼していく。 2) 各校区の子育てネットワーク代表者からなる管内子育てネットワークを立ち上げ、校区の子育て支援ネットワーク活動の情報共有や相互支援を行う。	
まちづくり懇話会での主な意見	1) ・子育てネットワークは、各地域で浸透しているとは言えない。東区で集まって話をする場は必要である。 ・子育てネットワークは、いかに地域で親の支援をしていくかが重要。各校区ネットワークは存在しても機能をしていないところがある。地域での子育て支援の必要性を認識してもらいたい。 2) ・子育て支援について、本当に手を差し伸べたいと思う人に届かないということが問題。参加する人はいいが、参加しない人の対策を検討すべき。	
その他意見	・子育てネットワークが自治組織との連携がとれていない。自治組織への情報の下ろし方を検討してほしい。 ・子育てネットワークを自治組織の中に組み込んで、予算もつけていただきたい。 ・防犯も子どもの安全対策であり子育てである。子育てについては総合的な認識で進めていくべき。	
今後の方向性	子育てネットワークの設置を推進するとともに、地域全体での子育て支援の必要性を認識する必要がある。また、参加しようとならない人に対して働きかける方策を検討してほしい。	

◆協議項目 3

協議項目名	【地域での介護予防の取組み】	
まちづくりビジョンとの関連	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	3 みんなで助け合う福祉のまちづくり
事務局提案の方針	現在、一部地域での実施となっている介護予防教室について実施場所、回数について拡充するとともに、地域において将来的に継続して実施できる、介護予防サポーターの養成等のシステムを構築する。	
まちづくり懇話会での主な意見	高齢者の孤立化が問題となっているが、個人情報保護との兼ね合いもある。見守り体制を地域の中でどう構築していくかが重要。	
その他意見		
今後の方向性	介護予防の取組みを充実させるとともに、地域における高齢者支援体制の充実を図っていく必要がある。	

◆協議項目 4

協議項目名	【高齢者を地域全体で見守り、支え合う体制の充実】	
まちづくりビジョンとの関連	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	3 みんなで助け合う福祉のまちづくり
事務局提案の方針	啓発活動の強化や認知症サポーター養成講座、認知症サポートリーダー養成講座の拡充に加え、校区とともに実際に認知症高齢者の徘徊を想定した認知症徘徊模擬訓練を実施する。	
まちづくり懇話会での主な意見	・若い人達がほとんど共稼ぎという時代になって、代わるべき存在として退職した人達を活用していくことが必要。65歳以降は社会活動へ参加し、地域で力を発揮してもらおう考え方を広めていく必要がある。 ・民生委員に認知症の判断まで任せるのは難しい。専門家の判断を要するため、高齢者サロン等の活用促進が必要。 ・民生委員に頼りすぎている。老人会等でも認知症への理解を深めていくべき。 ・商店街にも、認知症の方が増えており対応の仕方等勉強していきたい。	
その他意見	民生委員、主任児童委員の時代の変化に応じて年齢制限の緩和、見直しが必要ではないか。	
今後の方向性	認知症徘徊模擬訓練の参加については、民生委員だけではなく、他の人材も対象に含め実施してほしい。また、従来から活動を行っている自治会・女性団体・商店街等との連携もさらに強化し、地域全体で高齢者を支える体制の充実につとめてほしい。	

◆協議項目 5

協議項目名	【「若手農業者のネットワークづくり」について】	
まちづくりビジョンとの関連	基本方針	5 暮らしやすく活気あふれるまち
	重点的テーマ	1 地域に根ざした経済の活性化
事務局提案の方針	1) 若手農業者の情報共有、研修会の機会、消費者との交流、他業種との交流を図ることを目的とし、既存の組織等を結びつけ東区を単位とした若手農業者のネットワークを設立する。 2) 若手農業者による会議を開催し、研修や消費者、他業種との交流についてのニーズ、方法について検討し、その企画運営を行う。	
まちづくり懇話会での主な意見	1) ・高齢化が進む中で、若い後継者が中心となり意見交換を行うことは重要。 2) ・健康づくりという観点でも構わないので、農地を有効利用してはどうか。 ・親任せの農業ではなく、若い人達（後継者）が主体となって取り組むべき。そういった意識付けも重要である。 ・小中学生の農業体験は、食を考えていくうえで先々有効なものである。 ・いい米が出来る時に、よそに食べさせるのではなく、地産地消を基幹として整備していくべき。 ・他の地域の青年部では、消費者との交流や販売ルートづくりに取組んでいる。そうしたものも参考にしてほしい。 ・若者の青年部が会社を作り、地産地消の他、米の輸出も行っている。参考にしてほしい。	
その他意見		
今後の方向性	1) 若手農業者が中心となり意見交換を行うためのネットワークの充実を進めてほしい。 2) 小中学生の農業体験や地産地消、また消費者との交流や耕作放棄地対策など、他団体の取組みも参考にして若手農業者が主体となった活動を進めてほしい。	

(3) その他の意見

【まちづくりの人材について】

- ・どうすれば15歳から65歳までの人達が、地域に目を向けてくれるかの検討が必要。地域にはそれぞれプロフェッショナルがいる。PTAの若い30から40歳代の人達を様々なイベントや仕掛けの中に積極的に育てて入れると東区の人材が出てくるのではないかな。
- ・若者や団塊の世代の力を地域で生かしてもらうためにも、地域とこれらの人達をつなぐための仕掛け作りが必要。

【東区の特色を生かしたまちづくりについて】

- ・東区の財産である江津湖と運動公園を関連付ける仕掛けを作る。江津湖と運動公園は地域を認識するうえでの財産である。

【東区の環境について】

- ・託麻三山（小山山の孟宗竹）の管理について、対応策を検討すべき。

【参 考 資 料】

1 熊本市東区まちづくり懇話会設置要綱

1 設置目的

東区の住民代表で構成される東区まちづくり懇話会（以下「まちづくり懇話会」という。）を設置し、区民の参画によって、東区のまちづくりビジョンに基づく区の特性を生かしたまちづくりに関する事項について協議を行い、区民と区役所の協働により、暮らしやすいまちづくりを推進するもの。

2 まちづくり懇話会の役割

まちづくり懇話会は、市長が委嘱する市民で構成する協議の場として、東区のまちづくりビジョンに基づく区の特性を生かしたまちづくりに関する事項について協議し、その結果を東区長に報告する。

3 設置規定

熊本市東区まちづくり懇話会設置要綱に基づき設置するもの。

「審議会等の設置等に関する指針」に定める『懇談会等』の位置づけとなり、審議会等に含まれる。

4 委員の位置づけ

まちづくり懇話会の委員は、非常勤特別職の位置づけとし、会議出席に対して報酬（日額3千円）を支給する。

5 委員数

委員は、20人以内とする。

※主な構成員は、学識経験者、校区自治協議会会長、公募委員、事業者等

6 会議の開催回数、運営等

- (1) まちづくり懇話会の会議は、原則として年4回開催する。
- (2) まちづくり懇話会に会長及び副会長を置く。
- (3) 会長はまちづくり懇話会を代表し、会務を総理する。
- (4) まちづくり懇話会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- (5) まちづくり懇話会の会議は、公開とする。

7 設置スケジュール

H25年度									
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1回懇話会開催（6月13日） 懇話会概要、事業等説明		区内視察8月3日（区の特性を把握する）		第3回懇話会開催（10月初旬）協議項目の協議	第4回懇話会開催（10月下旬）協議項目の協議、まとめ 区長へ報告			第5回懇話会開催（2月中旬） 事業検証等 新年度事業説明	
	区役所内で 協議項目検討	第2回懇話会開催（8月20日）協議項目提案、選定							

2 熊本市東区まちづくり懇話会委員一覧

(敬称略)

	分野	氏名	所属団体等	役職名等
1	学識経験者	◎桑原 隆広	熊本県立大学総合管理学部総合管理学科	教授
2		澤田 道夫	熊本県立大学総合管理学部総合管理学科	准教授
3		山田 穰	東海大学産業工学部建築学科	非常勤講師
4	地域代表	中島 勝義	託麻東校区自治協議会(託麻総合出張所管内)	会長
5		丸山 鶴雄	桜木東校区自治協議会(秋津出張所管内)	会長
6		村上 徹郎	健軍校区自治協議会(東部出張所管内)	会長
7		島 定雄	画図校区自治協議会(東部出張所管内)	会長
8	福祉	古閑 俊一郎	熊本市社会福祉協議会地域福祉部会	東区代表
9	安全安心	田代 卓也	東地区交通安全協会	会長
10	地域・婦人	○下川 邦子	東区地域婦人会連合会	代表
11	青少年	山野 佳子	東区 PTA 連絡会	常任理事
12	商業	劔羽 逸朗	健軍商店街振興組合	理事長
13	農業	大津 隆満	熊本市認定農業者協議会	相談役
14	市民活動	多神田 喜代太	江津湖の自然と水を守る会	会長
15	学生代表	早田 美幸	熊本県立大学総合管理学部	大学3年生
16		大隈 識文	東海大学産業工学部卒	熊大大学院1年
17	公募	西原 明優	一般公募	—
18		吉村 たか子	一般公募	—

◎会長、○副会長

3 熊本市東区まちづくり懇話会 審議経過

会議	開催日時	内容
第1回	6月13日（木）	○委員委嘱 ○東区まちづくり懇話会の概要について ○東区まちづくりビジョンについて ○今年度の事業内容について
区内視察	8月3日（土）	○区内視察 ・各地域等の取組み、課題など
第2回	8月20日（火）	○報告 ・東区まちづくりビジョン事業体系について ○議事 （1）協議項目の提案 ①東区まちづくり予算事業（継続分）及び報告事業について ②課題新規対応策について （2）協議 ①東区まちづくり予算事業（継続分）及び報告事業について
第3回	10月8日（火）	※台風接近に伴い延期
第3回	10月15日（水）	○協議 （1）東区まちづくり予算事業（継続分）及び報告事業について （2）課題新規対応策について
第4回	11月12日（火）	○報告 （1）第6次総合計画中間見直し（素案）について ○協議 （1）平成25年度まちづくり懇話会報告書（案）について
報告	11月27日（水）	区長へ報告書提出
第5回	2月中旬（予定）	○事業検証等、新年度事業説明

